



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月14日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 美幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上田 悟郎 TEL (03)6202-2600(代)
 定時株主総会開催予定日 2019年6月20日 配当支払開始予定日 2019年6月21日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月20日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	661,330	5.9	14,868	△49.1	6,201	△68.0	1,116	△90.9
2018年3月期	624,270	9.8	29,205	12.9	19,408	△2.1	12,253	40.6

(注) 包括利益 2019年3月期 △354百万円 (－%) 2018年3月期 13,243百万円 (66.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	23.14	—	0.6	0.8	2.2
2018年3月期	253.96	—	6.5	2.6	4.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 △3,184百万円 2018年3月期 △5,361百万円

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	807,224	206,204	23.7	3,959.58
2018年3月期	774,071	208,396	25.1	4,026.28

(参考) 自己資本 2019年3月期 190,998百万円 2018年3月期 194,235百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	10,651	△34,947	28,971	25,190
2018年3月期	17,381	△51,853	13,543	20,794

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	3.00	—	30.00	—	2,895	23.6	1.5
2019年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	2,894	259.3	1.5
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00		82.7	

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当額は60円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	710,000	7.4	17,500	17.7	11,000	77.4	3,500	213.5	72.56

（注）当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況（2）今後の見通し」をご参照下さい。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	48,328,193株	2018年3月期	48,328,193株
② 期末自己株式数	2019年3月期	91,347株	2018年3月期	86,440株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	48,239,460株	2018年3月期	48,249,442株

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

（参考）個別業績の概要

2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	265,935	△2.6	4,959	△64.6	9,508	△51.6	9,061	△41.3
2018年3月期	272,970	5.4	14,001	6.4	19,650	26.0	15,443	42.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	187.84	—
2018年3月期	320.06	—

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	578,086	189,490	32.8	3,928.33
2018年3月期	554,398	182,560	32.9	3,784.27

（参考）自己資本 2019年3月期 189,490百万円 2018年3月期 182,560百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況（2）今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(連結損益計算書)	6
(連結包括利益計算書)	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当期の世界経済は、年度前半は米国を中心に堅調に推移したものの、年度後半は米中貿易摩擦の影響に伴う中国経済の減速、IT・半導体市況の悪化等により、軟調に推移しました。

わが国経済については、企業部門、家計部門でも緩やかな成長が続いているものの、世界経済の減速の影響を受け、不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの連結業績については、連結子会社であるTri-Arrows Aluminum Inc.の缶材・自動車パネル用アルミニウム素材の増加やUACJ (Thailand) Co., Ltd.での缶材増加及び地金価格の上昇等により、売上高は661,330百万円（前期比5.9%増）となりました。一方、損益については、棚卸評価関係が悪化したこと、当社の主力製品であるIT材や厚板（船舶、液晶・半導体製造装置用途）の需要が大幅に減少したこと、設備故障等の一過性要因が発生したこと及びエネルギーコストが上昇したこと等から、営業利益14,868百万円（同49.1%減）、経常利益6,201百万円（同68.0%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、当期において持分法適用関連会社であるConstellium-UACJ ABS LLCの持分譲渡に伴う利益が発生したものの、前期において米国税制改革法の成立に伴う米国子会社での法人税額の減少があったこと等により、1,116百万円（同90.9%減）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界については、板類の国内需要では、ビール系飲料の減少やPET飲料の伸長により、飲料缶向け全体では前期比減少となりました。自動車関連向け需要は底堅く推移した一方で、船舶需要や液晶・半導体製造装置需要等の減少が大きく板類全体数量としては前期比で減少となりました。押出類に関しては、建材は堅調でしたが、バストラック、乗用車、二輪の輸送向けが減少し押出類全体でも前期比で減少となりました。

当社グループの国内向売上数量は、前期比で板類は減少、特にIT材や厚板で大幅に減少し、また、押出類は前期並となりました。一方、海外向売上数量では、Tri-Arrows Aluminum Inc.の缶材・自動車パネル用アルミニウム素材の増加やUACJ (Thailand) Co., Ltd.での缶材増加に支えられ、当社グループのアルミ圧延品総量では前期を上回りました。

このような販売状況のもと、販売数量の増加や地金価格の上昇等により、当期のアルミ圧延品事業の売上高は、530,690百万円（前期比6.6%増）となりました。営業利益については、当社の主力製品であるIT材や液晶・半導体製造装置用厚板の需要が大幅に減少したこと、エネルギーコストが上昇したこと、設備故障等の一過性要因が発生したこと等から、17,011百万円（同42.6%減）となりました。

伸銅品事業

当事業の主力製品である空調用銅管の主要用途である家庭用ルームエアコン及び業務用パッケージエアコンの国内出荷は引き続き好調に推移し、前期を上回りました。銅地金価格は、上昇傾向にあった前期と比べ、当期は軟調に推移しました。

このような環境のもと、当期の伸銅品事業の売上高は47,490百万円（前期比4.1%増）となりました。営業利益は、品種構成の改善に伴う増益があったものの、棚卸評価関係の悪化やエネルギーコスト上昇等により1,738百万円（同16.2%減）となりました。

加工品・関連事業

IT関連の販売減はあったものの、電池材・空調関連品が堅調に推移したこと、地金価格の上昇の影響もあり、当期の加工品・関連事業の売上高は197,106百万円（前期比6.8%増）となりました。一方、営業利益はIT関連の落ち込みによる収益性の悪化や、米国加工品事業での新製品立上げコストの増加により、3,107百万円（同27.1%減）となりました。

②今後の見通し

次期（2020年3月期）の連結業績予想につきまして、販売面では連結子会社であるTri-Arrows Aluminum Inc.及びUACJ（Thailand）Co., Ltd.での缶材増加等を見込んでおります。損益面では、Constellium-UACJ ABS LLCの合弁事業解消に伴う持分法投資損益の改善、UACJ（Thailand）Co., Ltd.での損益改善、販売関係の好転及びコストダウン等を見込んでおりますが、一方で、棚卸評価関係の悪化やエネルギーコストの上昇等も想定されます。

連結業績予想値につきましては、通期で売上高710,000百万円（前期比7.4%増）、営業利益17,500百万円（同17.7%増）、経常利益11,000百万円（同77.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,500百万円（同213.5%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想値は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産については、売上債権の増加や設備投資等により、807,224百万円（前連結会計年度末比4.3%増）となりました。

負債については、Tri-Arrows Aluminum Inc.やUACJ（Thailand）Co., Ltd.への戦略投資等に伴う有利子負債の増加等により、601,020百万円（同6.2%増）となりました。

純資産については、為替換算調整勘定の減少等により、206,204百万円（同1.1%減）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より4,395百万円増加し、25,190百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前当期純利益が減少したこと等により、10,651百万円（前連結会計年度比6,730百万円減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、Constellium-UACJ ABS LLCの合弁を解消し、持分を譲渡したこと等もあり、34,947百万円（同16,906百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により調達した資金は、借入による資金調達等により、28,971百万円（同15,427百万円増）となりました。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮した上、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,005	26,510
受取手形及び売掛金	135,181	145,217
商品及び製品	39,412	38,243
仕掛品	60,439	62,300
原材料及び貯蔵品	45,261	54,567
その他	20,193	21,528
貸倒引当金	△30	△73
流動資産合計	322,461	348,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,941	70,977
機械装置及び運搬具（純額）	108,600	117,002
土地	115,730	114,920
建設仮勘定	33,848	50,790
その他（純額）	7,973	9,039
有形固定資産合計	335,092	362,728
無形固定資産		
のれん	46,435	43,156
その他	14,268	12,835
無形固定資産合計	60,703	55,991
投資その他の資産		
投資有価証券	26,577	21,384
退職給付に係る資産	483	487
その他	28,826	18,415
貸倒引当金	△71	△72
投資その他の資産合計	55,816	40,214
固定資産合計	451,610	458,933
資産合計	774,071	807,224

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,335	122,535
短期借入金	61,777	61,601
1年内償還予定の社債	2,500	—
1年内返済予定の長期借入金	50,643	45,579
その他	36,893	43,555
流動負債合計	273,148	273,269
固定負債		
長期借入金	227,417	267,901
リース債務	17,616	17,481
事業構造改善引当金	854	318
退職給付に係る負債	18,465	18,192
その他	28,175	23,860
固定負債合計	292,527	327,751
負債合計	565,675	601,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	51,841	51,337
自己株式	△295	△307
株主資本合計	184,141	183,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,383	1,670
繰延ヘッジ損益	△806	△1,203
為替換算調整勘定	8,359	6,950
退職給付に係る調整累計額	158	△44
その他の包括利益累計額合計	10,094	7,373
非支配株主持分	14,161	15,206
純資産合計	208,396	206,204
負債純資産合計	774,071	807,224

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	624,270	661,330
売上原価	540,150	588,956
売上総利益	84,120	72,375
販売費及び一般管理費	54,915	57,506
営業利益	29,205	14,868
営業外収益		
デリバティブ評価益	—	857
受取利息	941	853
受取配当金	431	444
その他	1,479	1,424
営業外収益合計	2,851	3,578
営業外費用		
支払利息	5,213	6,740
持分法による投資損失	5,361	3,184
その他	2,075	2,321
営業外費用合計	12,649	12,246
経常利益	19,408	6,201
特別利益		
持分譲渡益	—	2,591
投資有価証券売却益	826	1,636
固定資産売却益	512	918
その他	424	395
特別利益合計	1,762	5,539
特別損失		
固定資産除却損	841	826
火災による損失	—	374
固定資産売却損	8	223
その他	628	276
特別損失合計	1,478	1,700
税金等調整前当期純利益	19,692	10,041
法人税、住民税及び事業税	7,138	6,337
法人税等調整額	△733	1,756
法人税等合計	6,405	8,093
当期純利益	13,287	1,948
非支配株主に帰属する当期純利益	1,034	832
親会社株主に帰属する当期純利益	12,253	1,116

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	13,287	1,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211	△716
繰延ヘッジ損益	△170	△586
為替換算調整勘定	213	124
退職給付に係る調整額	221	△446
持分法適用会社に対する持分相当額	△97	△678
その他の包括利益合計	△44	△2,302
包括利益	13,243	△354
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	13,171	△1,604
非支配株主に係る包括利益	72	1,251

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	52,277	80,318	42,252	△241	174,605
当期変動額					
剰余金の配当			△2,895		△2,895
親会社株主に帰属する当期純利益			12,253		12,253
自己株式の取得				△54	△54
持分法の適用範囲の変動					—
その他の包括利益累計額からの組替			231		231
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	9,589	△54	9,536
当期末残高	52,277	80,318	51,841	△295	184,141

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,592	△661	6,851	703	9,485	14,270	198,360
当期変動額							
剰余金の配当							△2,895
親会社株主に帰属する当期純利益							12,253
自己株式の取得							△54
持分法の適用範囲の変動							—
その他の包括利益累計額からの組替							231
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△209	△145	1,508	△545	609	△109	500
当期変動額合計	△209	△145	1,508	△545	609	△109	10,036
当期末残高	2,383	△806	8,359	158	10,094	14,161	208,396

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	52,277	80,318	51,841	△295	184,141
当期変動額					
剰余金の配当			△1,447		△1,447
親会社株主に帰属する当期純利益			1,116		1,116
自己株式の取得				△12	△12
持分法の適用範囲の変動			△173		△173
その他の包括利益累計額からの組替					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△504	△12	△516
当期末残高	52,277	80,318	51,337	△307	183,624

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,383	△806	8,359	158	10,094	14,161	208,396
当期変動額							
剰余金の配当							△1,447
親会社株主に帰属する当期純利益							1,116
自己株式の取得							△12
持分法の適用範囲の変動							△173
その他の包括利益累計額からの組替							—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△713	△397	△1,409	△202	△2,721	1,045	△1,676
当期変動額合計	△713	△397	△1,409	△202	△2,721	1,045	△2,192
当期末残高	1,670	△1,203	6,950	△44	7,373	15,206	206,204

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,692	10,041
減価償却費	25,686	27,215
のれん償却額	3,504	3,490
持分法による投資損益 (△は益)	5,361	3,184
受取利息及び受取配当金	△1,372	△1,298
支払利息	5,213	6,740
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,423	△10,275
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,046	△9,431
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,812	1,301
その他	△6,396	△5,007
小計	30,032	25,960
利息及び配当金の受取額	1,807	1,625
利息の支払額	△5,197	△6,681
法人税等の支払額	△9,262	△10,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,381	10,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,289	△46,295
無形固定資産の取得による支出	△703	△696
投資有価証券の売却による収入	1,938	4,346
持分譲渡による収入	—	11,093
その他	△5,799	△3,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,853	△34,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,600	△51
長期借入れによる収入	60,123	86,478
長期借入金の返済による支出	△48,598	△52,269
社債の償還による支出	△2,500	△2,500
配当金の支払額	△2,895	△1,447
非支配株主への配当金の支払額	△256	△205
セール・アンド・リースバックによる収入	376	1,824
セール・アンド・割賦バックによる収入	730	122
リース債務の返済による支出	△3,624	△2,507
その他	△412	△474
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,543	28,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	598	△278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△20,331	4,395
現金及び現金同等物の期首残高	41,125	20,794
現金及び現金同等物の期末残高	20,794	25,190

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更するとともに、税効果会計関係注記を変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他」に含めていた繰延税金資産1,857百万円及び「流動負債」の「その他」に含めていた繰延税金負債8百万円は、「投資その他の資産」の「その他」28,826百万円及び「固定負債」の「その他」28,175百万円に含めて表示しております。

(追加情報)

(Constellium社との合弁事業の解消)

当社及び当社連結子会社であるTri-Arrows Aluminum Holding Inc.は、Constellium N.V.及び同社北米子会社Constellium U.S. Holdings I, LLCとの間で、Constellium-UACJ ABS LLCを合弁会社として設立し、北米において共同事業を行ってまいりましたが、2018年12月11日付で合弁事業解消の契約を締結し、Constellium-UACJ ABS LLCの持分全てをConstellium N.V.及びConstellium U.S. Holdings I, LLCに譲渡いたしました。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、アルミ・銅等の非鉄金属及びその合金の圧延品、並びにそれらの加工品の製造販売を行っており、それぞれの製品ごとに、グループとしての総合力を発揮すべく、業績の評価や投資の意思決定を行っていることから、「アルミ圧延品事業」、「伸銅品事業」、「加工品・関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

「アルミ圧延品事業」は、アルミ及びその合金の板圧延製品、箔製品、押出製品、鋳物製品、鍛造製品の製造及び販売を行っております。

「伸銅品事業」は、銅管・銅合金管及びその継手等の製造及び販売を行っております。

「加工品・関連事業」は、アルミ・銅等の金属加工製品の製造・販売、それらに関連する土木工事の請負や、グループの事業に関連する貨物運送・荷扱、製品等の卸売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	438,734	32,604	152,932	624,270	—	624,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	59,168	13,007	31,692	103,867	△103,867	—
計	497,903	45,611	184,624	728,137	△103,867	624,270
セグメント利益	29,653	2,075	4,262	35,990	△6,785	29,205
セグメント資産	636,118	38,574	102,793	777,485	△3,414	774,071
その他の項目						
減価償却費	21,360	870	2,110	24,340	789	25,129
のれんの償却額	1,996	24	1,484	3,504	—	3,504
のれんの未償却残高	30,639	365	15,431	46,435	—	46,435
持分法適用会社への投資額	18,327	—	3,104	21,431	—	21,431
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	44,681	586	5,470	50,737	458	51,195

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△6,785百万円には、たな卸資産の調整額△244百万円、セグメント間取引消去△307百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,234百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△3,414百万円には、たな卸資産の調整額△727百万円、セグメント間資産消去△25,966百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産23,279百万円が含まれております。
全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の投資有価証券及び一般管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額789百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理部門等の資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額458百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理部門等の資産に係る増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	467,040	32,028	162,262	661,330	—	661,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63,650	15,462	34,843	113,955	△113,955	—
計	530,690	47,490	197,106	775,286	△113,955	661,330
セグメント利益	17,011	1,738	3,107	21,855	△6,987	14,868
セグメント資産	682,856	38,925	97,876	819,658	△12,434	807,224
その他の項目						
減価償却費	22,863	720	2,274	25,857	793	26,650
のれんの償却額	1,998	24	1,468	3,490	—	3,490
のれんの未償却残高	29,019	341	13,796	43,156	—	43,156
持分法適用会社への投資額	17,956	—	—	17,956	—	17,956
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	49,518	1,174	1,499	52,191	353	52,544

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△6,987百万円には、たな卸資産の調整額47百万円、セグメント間取引消去△465百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,569百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△12,434百万円には、たな卸資産の調整額△681百万円、セグメント間資産消去△30,616百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産18,863百万円が含まれております。
全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の投資有価証券及び一般管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額793百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理部門等の資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額353百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理部門等の資産に係る増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	4,026.28円	3,959.58円
1株当たり当期純利益	253.96円	23.14円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	12,253	1,116
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	12,253	1,116
普通株式の期中平均株式数(千株)	48,249	48,239

(重要な後発事象)

該当事項はありません。